



故 田端しづゑ様が紺綬褒章（遺族追賞）を受章

令和4年10月に、日高町と新冠町へ多額のご寄附をいただいた字美原の田端しづゑ様が、その後、同年11月にご逝去されたことから、ご息女の土居克子様へ紺綬褒章の遺族追賞の授与が決定されました。

紺綬褒章は、公益のために多額の寄附をされた個人や法人・団体に授与される国の褒章制度で、その功績が顕著と認められた場合、国から授与されるものです。

3月22日、大鷹町長と鳴海新冠町長がご遺族宅を訪問し、紺綬褒章の遺族追賞として杯記と木杯を伝達しました。

歓談では、ご寄附に至った経緯や思い出をお話しいただき、あらためてご寄附への謝意と、ご遺

志であった地域医療の充実として門別国民健康保険病院の訪問診療巡回車両等を導入させていただいたことをお伝えしました。

今後も更なる町の振興・発展のため、有効に活用させていただきます。



災害協定を締結しました

3月13日、役場町長室において、一般社団法人日本ムービングハウス協会との「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定」及び「包括連携協定」の締結式を行いました。

本協定は、町内で災害が発生、または発生するおそれがある場合に、被災者の生活空間を確保するために、仮設住宅を迅速に提供いただくもので、災害発生時のほか、宿泊施設や公共施設など、多岐にわたる利用目的に役立つ包括連携などの協力をいただくものです。



佐々木信博代表理事との記念撮影



八雲町のホタテが学校給食に

八雲町から無償で提供されたホタテが、日高小中学校に「ホタテのクリームスパゲティ」として、富川・門別・厚賀小中学校に「ホタテカレー」として、学校給食のメニューに登場しました。

これは八雲町が全国の小中学校や社員食堂を持つ企業などを対象に無償でホタテを提供する取り組みによって実現しました。

子どもたちは新鮮なホタテを活かした風味豊かな給食をおいしそうに味わっていました。



厚賀小学校での給食の様子



この寄贈事業は12年間継続して行われています

ストップウォッチの寄贈

3月1日、厚賀町防犯協会（沼田芳政会長）、厚賀町青少年育成委員会（鈴木正志会長）より、学校運営及び教育活動の一助を目的に、厚賀小学校へストップウォッチ2セットが贈られました。

測定結果が簡単にパソコンにデータ化でき、児童の体力向上のために活用することができます。

田中豊人校長は、「地域の学校としてこれからも期待に応えられるよう、職員一丸となって取り組んで参ります。貴重なものを本当にありがとうございました。」と話していました。

日高いきいき教室開催

3月4日、門別総合町民センターにおいて、日高町老人クラブ連合会女性部会主催の研修会が開催され、64名の方が参加しました。

研修は、株式会社TakaraDeporte代表取締役の高羅正成さんを講師に迎え、多くの女性が悩む「尿漏れ」について、原因や対策、基礎知識などを学びました。

研修後は、脳トレを取り入れた運動や、音楽に合わせたボクササイズで汗を流しました。



ボクササイズを楽しむ参加者のみなさん



福岡さん（左）、木村さん（中央）、松崎さん（右）

日高町教育奨励表彰

3月21日、門別総合町民センターにおいて、令和5年度日高町教育奨励表彰式が行われました。

第51回日本選手権北海道大会（野球）に出場し準優勝しました福岡栄多郎さん（富川中学校2年）、木村隼さん（門別中学校2年）、第11回日本少年野球北海道選手権大会に出場し優勝した松崎幸光さん（厚賀中学校1年）がスポーツ奨励を受賞され、武田教育長より表彰状及び記念品が授与されました。